

会 議 録

1 会議名

第9回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

2 議題

1) 開会（公開）

2) 議題（公開）

上越市新幹線駅周辺地区まちなみ形成構想（案）についての修正及び
付帯意見

駅舎デザインについての付帯意見

3) その他

4) 閉会

3 開催日時

平成22年11月29日（月）午後2時から

4 開催場所

上越商工会議所3階大会議室

5 傍聴人の数

21人

6 非公開の理由

なし

7 出席した人（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

委員 飯塚むつこ、伊藤えり子、内山勇人、大島政義、黒野弘靖、
関由有子、水野一郎、本山雅彦

オブザーバー 奥野賢新潟県都市政策課長（代理：葦沢学宏同主査）、田村定
文新潟県交通政策課長（代理：小林佳布同主任）、西田 聡 J
R東日本新潟支社総務部企画室長（代理：斎藤浩同主席）、桐
山昭一新潟県上越地域振興課長、津金昭一鉄道運輸機構北陸新
幹線建設局次長（代理：滑川昌彦同建築課長）

事務局（上越市） 竹田淳三総合政策部長、柴山弥松新幹線・交通政策課長、伊藤
伸同係長、渡来美香同主任、高橋基彦同主事、池田忠之新幹線
新駅周辺整備事務所係長、田中幸治同主任、濃野英樹同主任

8 発言の内容

(1)開会 (総合政策部長より挨拶)

(2)議事

「新幹線駅舎
デザイン」に
ついて

(水野座長) ただいまの説明について、質問等ございませんか。

前回、それからフォーラムで、「駅舎の東西でデザインを違うものにしたらどうか」という意見が出ましたが、これについていかがでしょうか。

(竹田総合政策部長) 議会に説明した時に「東西でテーマも違うので、デザインを変えることもひとつの案ではないか」という意見も出ました。今日は機構さんもおいでいただいているので、その辺の現実的なところをお聞かせいただきたいと思います。

(鉄道・運輸機構) 「東西でデザインを変えてはどうか」というご提案ですが、例えば「こちら側がAでこちら側がC」というのは、「ありなし」で言えば「あり」かもしれません。例えば、市街地の片方が工業地帯で片方が農村地帯というように、性格がまるで違う場合は「あり」だとは思いますが、今回の上越駅の場合はそれほど大きな違いはないだろうと思います。両方も市街地ということもあり、基本的には変えたくないというふうに考えています。

それと、両側を同じデザインにすることはメリットがあり、材料や下地が同じになりますので、予算の面からもそちらの方がいいということもあります。

過去に変えたケースもありますが、若干違和感がありました。というのも、外から見て両側が見える場所はなかなかないので、例えばホームに立ってみた場合に、右側と左側でそれぞれまるで違う風景だとデザインとの違和感を感じる気がします。

A案ではガラス面にプリントがあるので、東西で若干テイストを変えてみるというようことはこれから検討していきたいと考えています。

(竹田総合政策部長) 機構さんはそういうご意向ですが、先ほど申し上げたように、市民の皆さんからのご意見も出ています。西口は「大自然との対峙」、東口は「都市との対峙」というコンセプトは

まちなみ会議で議論されてきたこともありますので、イメージを少し変えることもご議論いただきたいと思います。

(水野座長) 選択肢としてはA案に行くか、B案に行くか、C案に行くか、その他に「A足すB」とか「B足すC」とか、組み合わせはいっぱいできます。それも含めこの会議で結論をつけていきたいと思います。

今までもかなりご意見をいただいておりますし、前回の会議でもご意見を考えてきてほしいとお願いしてきたこともありますので、だいたい出尽くしたのではないかと思います。それぞれ100%満足するデザインということではなく、いいところも悪いところもあり、「ここは直した方がいい」という部分を抱えていることも事実です。

デザインを少しずつ絞り、絞った中でさらに推し進めていくというふうに2段階で考えてまいりたいと思います。

特になければ、おひとりずつ意見をお聞きします。

それでは大島委員お願いします。

(大島委員) 今ほど駅舎のお話がありましたが、やはり外観の不統一というのは非常に違和感があると思いますので、私は統一されたデザインの方がいいのではないかと思います。

私どもで東口、西口それぞれのテーマを決めましたけれども、あまり意識してそれを強調してはいないんだというムードが漂っておりますので、そういう意識でご検討いただければと思います。

このA、B、C案を市民の方に見ていただきましたら、やはり明るさですね。このあたりが非常に強いインパクトを与えているのではないかと思います。

A案については、私もこの前お話ししましたが、プラットホームから見たとき、窓が前面の明るさを取り入れている点で明るく見えるように思います。

従いまして、B案についてはわざわざ開口部をボードで覆う必要があるのか、またC案ではランダムに板が貼り付けてあって、ある意味逆になったら中からの展望が見えなくなるのではと思いますので、そんな点でA案だと思います。

それと、先般お話のありましたように、地場産材を十分に使って暖かみのあるようにしていただきたいと思います。

(伊藤委員) 私も大島さんと同じです。機構さんの言ったように細かいデザインを変えるのはいいと思いますけれども、AとB、BとC、とまったく表と裏で変えるのは違和感があると思いま

す。もしパンフレットなどで駅を記載する場合に、西と東、どちらの面を記載するのか、そういった場合に混乱が生じるのではないかと思いますので、そういう意味でも同じデザインで細かいところのデザインを変えていくのがいいのではないかと思います。

(本山委員) 東西違うデザインについて機構さんの方からお話がありました。所在そのものが東と西で大きく異なるものがないので、ここで改めて色を変えるなどの必然性がないのではないかと思います。それよりは統一したデザインの方が調和がとれると思います。

いずれにしろ、八角ドームなどフェイスが違いますので、そこで十分特徴が生かされていると思います。全体の調和をとるためには同じデザインの方がすっきりすると思います。

最終的にA、B、C案とありますが、前々回の会議で私も申し上げましたとおり、基本的にはA案でいいと思っています。ただ、市民意見に「桜だけでいいのか」とか「安っぽいのでは」とかありましたように、テーマは何かきっちり決められた方がいいと思います。「桜」と「雪」は地域のブランドだと思いますので、テーマはこれでいいと思います。

素材までお伺いしませんでした。よくシールを貼ったような素材もあります。確かにそれだと安っぽいと思いますので編みこみガラスにさせていただくとか、スタンドガラスにさせていただくとか、やっぱり少し落ち着きのある、品のある形にさせていただいた方がいいと思います。

(関委員) 東口と西口のデザインの違いはない方がよろしいと思います。上越駅のコンセプトは定めておりますし、都市施設側で明らかに異なるものがありますので、あまりいろんな要素の混じらない方が、長い間飽きのこないデザインになるうかと思えます。

まだデザインを主張していない両側の部分がありますので、あまり際立った、個性の強い面がない方がよろしいかと思えます。

(水野座長) A、B、Cについてはいかがですか。

(関委員) A案でよろしいと思います。

(内山委員) 先ほど事務局からご説明をいただいたように、確かに東西でデザインを変えるという考えもなくはないと思いますが、我々、ここに住んでいる住民としては、首都圏とかよそへの玄関口となり、逆にこの地域に来てくださる方にも同じく玄

関口という意味合いがありますので、デザインは統一した方がいいと思います。合わせてデザイン案についても、雪と桜のA案でいいと思います。

(飯塚委員) 東西のデザインの違いについては、私たちは視覚の印象がとても大きいので、西口・東口が全く違っていると、「上越の駅ってどんな駅だったかな」とみなさんの記憶には残りにくいと思うんです。

どちらに立っても同じ共通のものがあることが大事ではないかと思いますので、デザインは東西一緒の方がいいと思います。

私もA案がいいと思うんですが、ホームを見渡してあその窓にも桜吹雪、こっちの窓にも桜吹雪が見える方が、上越の駅は桜吹雪がみえるなとみなさんの中にも共通のイメージとして残るので効果的ではないかと思います。

あと、都市施設によって東西が変わるとか、色によっても違いを十分に表現できると思うので、細かなところで調整しより効果的なものにしていただきたいと思います。

(黒野副座長) 皆様がおっしゃっていただいたことの補足ですが、今まで8回の会議を重ねてきましたことを鉄道・運輸機構さんに随分聞いていただき、この3案を出していただいたわけですので、私も両方が同じということに賛成です。

(水野座長) 今、みなさんのご意見をお伺いしたら全員一致ですので、私が反対してもどうしようもないことになっております。

私自身はA案がいいと思いますし、東西同じでいいと思っております。

先ほどから言っておりますように、都市施設側で十分考慮しているのと、それからできるまちがちょっと違うだけで、新幹線の駅自体は同じような造りになる。320メートルの長さで箱がずっとできるわけです。それは窓がないと真っ暗な箱になる。A案だと、その箱の真ん中の100メートルくらい両側が明るくなります。それと、真ん中にトップライトがずっと続きます。そうすると、北陸新幹線の駅の中で一番明るい駅になるかもしれません。かなり高い角度になりますので、よけい明るい雰囲気ができると思います。

そのとき、A、B、Cの3つの図を見るとわかりますが、Aが一番上品で気品があっていいと思います。その前に力強い都市施設の八角ドーム、反対側には展望の光のテラスがあります。東側には竹林、反対側には桜があります。

そんなふうに、まちから駅広、駅広から都市施設、都市施設から駅施設と、それらが非常に強く作られてきているのではないかと考えております。

高岡も新黒部も糸魚川も都市施設がありませんので、駅舎で頑張らなければなりません。駅舎を背景にして、都市施設と駅前広場で頑張るという形でいくと、本当にユニークな駅になるのではないかと私は考えております。

インテリア側から見ても、ガラスを通してまちが見える。そのガラスにいろいろな情報が入っているというのは、それもなかなか日本でユニークな駅になるだろうと思います。

そんな意味で私もA案がいいと思いますし、東、西とも同じデザインでいいと思います。

デザインで意見が一致するのは珍しいのですが、それでは全員一致でA案にしたいと思います。

A案について、何か付帯意見があれば申し出ていただきたいと思います。

先ほど大島委員から「地場産材を使ってほしい」、「暖かみのあるものにしてほしい」という意見がありました。下手をするとコストをかけないと無機的なものになるかもしれないところを、暖かみのあるものにしてほしいという意見です。

新幹線駅はどこもコスト的には同じだけしかかけられず、ひとつだけ高級なものを使おうというわけにはいかないのですが、その中で知恵を出していこうという考えです。

その他にご意見はございますか。

私のからひとつ申し上げますと、先ほど「窓ガラスにシールを貼ったようになるとよくない」というご意見がありました。これは非常に重要で、せっかく設けてもこれでは上越市の評判を落としかねないので、きちっとしたものを作ってほしいと考えています。

まちなみ会議の提案ではセラミックで作る構想です。セラミックですとかなり重厚な感じで、かなりよくなると思います。問題はそのデザインをきちっとしたデザイナーにやってほしいということを要望したいと思います。是非、上越市からも是非ちゃんとしたデザインになるよう提案いただき、それがどんなものになっていくか見せていただきたいと思います。

先ほどの大島委員の「地場産材のぬくもり」とかプリント

というのはディテールになりますので、今の段階で決めるわけにはいきませんが、実施段階で是非、そうした意見も入れていただきたいと思います。

その他に何か付帯意見はないでしょうか。

都市施設はまだこちらの方でできますし、あと、駅舎、都市施設、広場を含めた連続的なデザイン、ちぐはぐではなく統一感があるようにやってほしいと思います。今後、いろいろな設計者が入ってきますので、その辺がバラバラにならないように是非お願いします。

飯塚さんのおっしゃる色についても、放っておくと結果的にバラバラになってしまいます。

(飯塚委員) 外観でも上品な上越らしい駅になるとと思いますが、内部でも、色や使用する材質で違いや個性を出し、是非上越らしさを思う存分取り入れていただくよう頑張っていたきたいと思います。

先ほど座長のおっしゃったデザインについてですが、最初の会議の頃に出ていたように、ガラス面のプリントの花びらの中に、上杉とか上越とか文字を入れるデザインも可能ではないのかと思います。近くで見たら上越とか妙高と書いてある、でも遠くで見たら桜とか雪の山なみのようになっている、というデザインを是非検討いただき、意外性を取り入れたら面白いのではないかと思います。

(関委員) 外観のデザインは固まってきていると思いますが、駅舎の中についてです。壁や柱、特に床面はサイン性をもたせることもありますし、駅前の都市施設とのつながりもあるので、難しいと思いますが、是非、すべりにくくデザイン性もよくサイン性もあるような配慮をしていただきたいと思います。床面は足が触れるところでもあるし、汚れにくさ、清掃のしやすさ等も考えたうえで、さらに都市施設とデザインもつながるように考えていただけたらいいと思います。

(水野座長) それでは以上のような付帯意見をつけて、A案でいきたいと思います。

(事務局) 今までの会議で出された意見について、付帯意見としなくてよろしいかどうかの確認をさせていただきたい。

照明に関してはいかがでしょうか。

(関委員) トップライトを採用するということは鉄道・運輸機構から最初から提案されていましたが、是非、それは検討していただいて、なおかつメンテナンスしやすく壊れにくいものがい

と思います。また、トップライトを使うことによって昼間は照明に使うコストを削減できるし、エコロジカルということでも積極的に採用した方がいいと思います。

(水野座長) 駅舎ですので、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、メンテナンスフリーの雪解けクリーナー、ランニングコスト、電力、省エネなど、基本的なことは付帯意見としなくても当然という感じだと思います。機構さん、いかがでしょうか。

(鉄道・運輸機構) バリアフリーについて、今度開業する九州新幹線や東北新幹線では現在考えられる最高水準のものを採用しておりますので、その辺はまず間違いないだろうと思います。

メンテナンスについても、JR東日本と打合せの上でメンテナンスしやすいようにするつもりですので、その辺は任せてください。大丈夫です。

(水野座長) トップライトについてもすでに出ていますので、わざわざ付帯意見としてつけることもないと思います。

LEDを使うかどうかというのはちょっと難しいので、全体の中で決めていくことになると思います。LEDの照明もちょっと癖があり、300メートル程の長さでLEDを使うと相当大変です。それも全体のバランスの中で決めていただくことになると思います。

(事務局) それでは確認させていただきますと、大きく3点でよろしいでしょうか。

1. 地場産材の使用
2. 公共施設との連続性の確保
3. ガラス面のデザインの配慮

(水野座長) あとひとつ、暖かみのあるデザインということ。気持ちいいというか、ホッとするというか、そういったやすらぎ、癒しみたいなものがあるといいということ。

大島委員の意見を私はそんなふうにとらえました。冷たくない、無機的でないという意味を含んでいると思います。

(事務局) 以上、大きく4つを付帯意見として取り入れさせていただきます。

「まちなみ形成構想」について
(事務局より説明)

(水野座長) 今までの9回の会合、それからアンケート、フォーラム等の意見を整理していただきました。

これについてご質問、ご意見等ございませんか。

(関委員) ディテールとか詳細について、申し送りしていただけるならと考えてきたことがあります。

施設計画の9ページの駅雁木のところですが、真ん中の断面図を見ますと、屋根があります。普通ですと、そこに木が1本くるんですが、ここでは逆Vの字になっています。どこかで見覚えがあるなと考えてみましたら、法隆寺の会堂が似たような感じで、Vの字がもう少し横に広がった形です。これは黒野先生の方が詳しいですが、法隆寺の重要なデザインの要素をアレンジしてあっさり使うのもどうかと思うのでご検討いただければと思います。

他にも水処理のことや、雪が積もったとき落雪にしているのかなど考えなければいけないんですが、建築関係者なら法隆寺と似ているのではないかと話題になることもあると思いますので、ここはデザインについてご検討いただければと思います。

また、垂木を250ミリメートルピッチで配置してありますが、ちょっと繊細というか細かすぎないかという気がしますので、是非、現物模型か2分の1スケール位で検討いただき、多くの人の意見を入れていただいたらいいなと思いました。

次に、今日お話を聞きながら、このアート作品の展示に関連して、ほくほく線の松代駅では、妻有アートビエンナーレの関係もあり、棚田から山なみにかけて目を引くようなアート作品が常設で展示されています。ああいうものもイメージされます。

また、毎年秋になると、清里区の稲文字や、単なる文字ではない稲文字をアレンジした本当に素晴らしい観光の目玉になるものがあります。駅施設周辺に農耕されている方もいらっしゃるるので、そちらとも関連して、駅からみたときに西側には上越らしいものがあるといいと思います。

また、釜蓋遺跡との連携については、十分に議論を重ねて、できるだけ地元のみなさんの意見を入れられるようにしたらいいと思います。

西口の建物の高さについて、3回目の会議のとき、駅から見るとたしか民間の5階建のビルができるとこうなるというボリューム感を見せていただいて、妙高山との眺望の兼ね合いが話題になったかと思います。

建築的な面で地区計画や建築協定がありますし、新しい景観法でも景観形成地区というものもあります。この地区は新

しい景観をこれから作りだしていく地域ですので、是非、民間を制限するというのではなくて、この駅舎や景観的な価値を活かすことによって、逆に商業的にも活性化していったほしい。いろんな面から、上越の駅は、妙高が見える駅は素晴らしいという評判を得られるようにするために、やはり高い建物がないほうが、これからの50年、100年を考えると必要なのではないかと思います。

最初にひとつ建ててしまうと、それを制限するのは非常に難しいと思いますので、はじめの1歩を十分検討していけるようになると思います。

(黒野委員) いま、関委員が言われたことの方や、「民有地への協力のお願ひ」という項目にも関連しますが、資料の8ページに「南側歩道上のシェルターについては、隣接街区における開発状況や駅前広場全体の工事費を踏まえながら、設置を検討する」と書いてあります。例えば周辺の民地の方が、雁木にあたるものを建築条例かなにかで結ばれたりした場合には、是非、駅前広場に今計画している雁木とつながるように今後検討していただけないかと思います。

今回、駅前広場の計画が決まったわけですが、幸い駅舎と関連したものになったと思いますし、こういった広場と関連付けていくことが必要だと思います。

(水野座長) 民地ではまだ建築協定とかは立ち上がっていませんね。

(竹田総合政策部長) 民地については、住宅地域だけ先に地区計画に合意しております。現在、商業地域の地区計画を結ぼうということで地権者とお話しています。

ただ、まだ高さの話はできていません。まちづくりの計画が大切だということを話していますが、他方で土地の利用価値がなくなるのではないかとということも当然あります。そういうことをひとつひとつ話ししなければいけないと思っています。

例えば、西側については、まちなみ会議の1回目か2回目に関委員から同じような主旨でご発言があったと思います。

地権者としれば開発していきたいということですので、景観を完全にただ残すというだけではなくて、どんな景観を残すのか、もしくは開発する場合にはどういう順にどういう開発をしていかななくてはならないのか、きちんと市民のみなさんや地権者の方と話していきたいと思います。

地区計画については、まさに今お話ししている最中ですので

で、ここで出たご意見も是非お伝えし、進めていきたいと思
います。

(水野座長) 特に駅の西側は何もないところに作り出すという、大事な
ところですよ。どんなものを作り出すのか、上越の民意のバロ
メーターになってくるのではないかと思います。

ただいまありましたように、付帯意見として申し送りし、
今後、修正するものは修正されていくと思います。

このまちなみ会議は、駅舎から都市施設から駅前広場から
駅周辺の全部を決めるわけにはいかないの、それぞれの段
階に対して申し送りをし、それが検討されていって、さらに
変わっていくのを期待したいと思います。

ひとつだけ、私は、駅周辺や駅前広場は無電柱化が決まっ
ているものだと思っていましたがどうでしょうか。

(竹田総合政策部長) 駅前広場は無電柱化したいと思っていますが、東北電力さ
んの方では、具体的な電力需要がないと難しいという現実的
な話をお聞きしています。

我々としては、駅東西のメインになるところは無電柱化し
たいということで進めています。市民の皆さんからも議論を
わき起こしていただき、是非進めたいと思っております。

(水野座長) このまちなみ形成構想については、もう1回ありますね。

(事務局) 次回で最後の会議になります。今日の議論を持ち帰って
いただき、今回出なかった内容で新たに申し送り事項がござ
いましたら、次回の会議でご意見をいただければと思います。

(大島委員) ユニバーサルデザインに関連して、エキナカのトイレのこ
とですね。トイレはエキナカのみを整備すると申し送りがあ
りますが、前回の会議でも意見が出たように、広場にトイレ
を設置するという意見もあります。その辺も考えるべきだ
と思います。エキナカのトイレはそれなりに使い勝手も良い
と思いますが、新しく作ることになるといういろいろな問題
もあるでしょうし、いかがでしょう。

(竹田総合政策部長) 我々は基本的にはエキナカで整備するという考え
ですが、前回、伊藤委員から意見が出ましたし、今、大島委員
からも出ています。

こうしたご意見を受けて、基本的には東側はいらな
いと思いますが、西側には公園がありますので考えなければ
いけないのかなと思ったところです。コストの話、メンテナ
ンスの話もありますので、考えさせていただきたいと思
います。そういう意味で、今後の申し送り事項として書いて
います。

(水野座長) 他にないようでしたら議事を終わります。

今日、一番大きかったのは駅舎デザインについて。A案でいくことを、付帯意見をつけてこの会議から市長へ答申します。

それからまちなみ形成構想については、もう1回、12月中旬に最後の会議を開催します。

(3)その他

(竹田総合政策部長)

今日は駅舎のデザインの中からA案を選んでいただきました。後ほど座長から市長に答申をしていただく予定です。

第10回の会議では、まちなみ形成、都市施設、都市空間、こうした一連のものを構想としてお決めいただきます。

いよいよ新幹線の周りが見えてまいります。2015年の春には新幹線が動きます。それに向けて我々がやらなければいけないこと、その第1歩がこの駅であり、駅舎周辺です。皆さまから非常に真摯にご議論いただきましたことを、これから形にしていきたいと思えます。

是非もう1回頑張ってください、良い提案をいただきたいと思えます。今日は大変ありがとうございました。

(4)閉会

(事務局より閉会)

9 問合せ先

総合政策部新幹線・交通政策課 TEL : 025-526-5111 (内線 1851)

E-mail : kotsu@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。

第9回上越市新幹線駅周辺地区まちなみ検討会議

出席者名簿

氏名	在籍等	出欠等
飯塚 むつこ	会社経営、カラーコーディネーター	出席
伊藤 えり子	(株)英香園取締役	出席
内山 勇人	上越青年会議所直前理事長	出席
大島 政義	和田地区振興協議会前会長 上越市北陸新幹線建設促進まちづくり協議会前会長	出席
黒野 弘靖	新潟大学工学部建設学科 准教授	出席
関 由有子	せきゆうこ設計室主宰、一級建築士	出席
田中 弘邦	上越商工会議所会頭、上越観光コンベンション協会会長	欠席
平野 仁	会社役員	欠席
水野 一郎	金沢工業大学環境・建築学部教授	出席
本山 雅彦	(株)JTB 関東上越支店長	出席

オブザーバー

氏名	在籍等	出欠等
奥野 賢	新潟県土木部都市局都市政策課長	欠席
蕨沢 学宏	" " " 主査	代理
田村 正文	" 交通政策局交通政策課長	欠席
小林 佳布	" " " 主任	代理
西田 聡	JR東日本新潟支社企画室長	欠席
齋藤 浩	" " 主席	代理
津金 昭一	鉄道・運輸機構北陸新幹線建設局次長	欠席
滑川 昌彦	" " 建築課長	代理

上越市(事務局)

氏名	在籍等	出欠等
竹田 淳三	総合政策部長	出席
柴山 弥松	" 新幹線・交通政策課長	出席
伊藤 伸	" " 係長(新幹線・並行在来線担当)	出席
渡来 美香	" " 主任	出席
高橋 基彦	" " 主事	出席
池田 忠之	" 新幹線新駅周辺整備事務所係長	出席
田中 幸治	" " 主任	出席
濃野 英樹	" " 主任	出席